

【私の研究自慢】（第5回）

生物資源工学科 萩野航

こんにちは！生物資源工学科の萩野航（はぎのわたる）です。生物資源工学科では生物や環境にかかわる授業を担当しています。

私の専門についてお話する前に、この写真の生物の名前、皆さんは分かりますか？

答えは、「イレコダニ」という、ダニのなかまです。

というわけで、私は「ダニ」という生物について研究をしています。

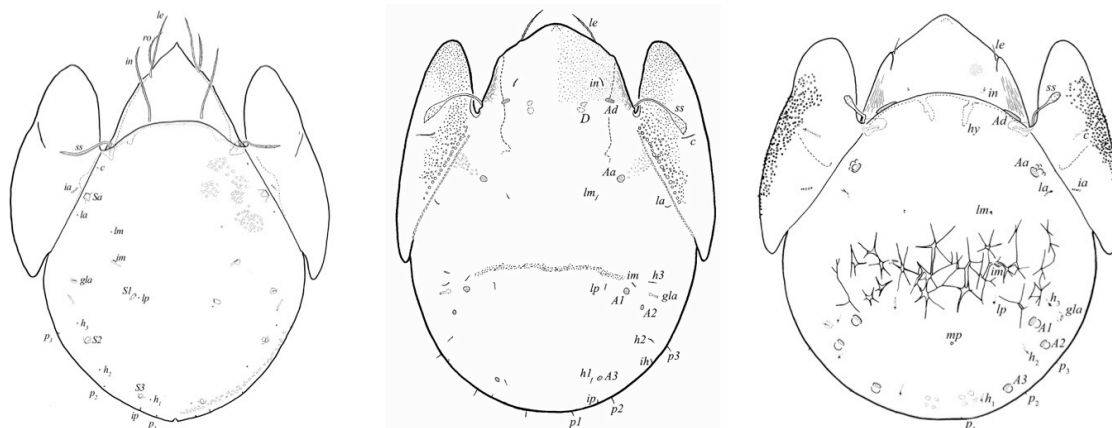
「ダニ」と聞くと、「ほかの生き物の血を吸う」「アレルギーの原因」「農作物にわく害虫」などなど、悪いイメージばかりだと思います。しかし、実はそのような「悪い」ダニは全体のごく一部の種類のみで、ほとんどのダニは人間にとって無害か、とても重要な働きをしている「良いダニ」ばかりなのです。



たとえば、上で紹介したイレコダニを含めたササラダニ類のなかまは、普段は土の中に住んでいて、土壌中の落ち葉や枯れ枝などの有機物を食べて生活しており、「分解者」として大切な働きをしています。

彼らが居るおかげで森林環境の栄養が循環するため、生態系にとって無くてはならない存在です。

ササラダニ類は現在、地球上から約1万種が見つかっており、日本でも約800種が報告されていますが、まだまだ未知の種がたくさん生息しています。そんなひっそりと暮らしているダニ達に出会うため、日本中、ときには世界各地で採集を行い、新種を見つけて記載・報告するのが私の使命です。



日本各地から発見・記載したササラダニ目フリソデダニ科の3新種

さらに、実はこのササラダニ類、環境ごとに異なる種のダニが生息していることがわかっています。

この性質を利用して、ダニの種類から「環境診断」を行う試みがなされているなど、まだまだダニの世界は大きな可能性を秘めていると言えますね。

気がつくと今回はダニの話ばかりしてしまいましたが、生物資源工学科には他にも多様な専門分野をもった教員が揃っていますので、きっとあなたの活躍できる専門分野が見つかるはずです。

生物資源工学科で、一緒に生物の不思議な世界を探検してみましょ。お待ちしております！